

2 樹木

さくら

農薬取締法上、「さくら」は観賞用など食用以外の樹木を指す。

さくらんぼは、「おうとう」「核果類」および「果樹類」に適用のある農薬を使用すること。
葉を食用にする場合は、「食用さくら(葉)」および「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

作型・病害虫名	月											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
モンクロシャチホコ									=====	=====		
マイマイガ				=====	=====	=====	=====	=====	=====			
アメリカシロヒトリ				=====	=====	=====	=====	=====	=====			
クビアカツヤカミキリ				=====	=====	=====	=====	=====	=====			

===== 発病・加害時期
 ===== 発病・加害最盛期

成虫羽化
 幼虫活動期・フラス排出(樹食害)

てんぐ巢病

防除方法

- 1 病した枝は切除する。
- 2 切除後、切り口に下記の薬剤を塗布する。
 - ・ [トップジンMペースト](#) <1> 【原液 病枝切除後/5回】

モンクロシャチホコ

留意事項

- 1 若齢幼虫期は、幼虫が集団化しており防除効果が高い。
- 2 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのない十分に配慮する。

防除方法

- 1 群生している幼虫を葉や枝ごと切り取り処分する。
- 2 発生初期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) <4 A>
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期/5回】
 - ・ [ジェイエース水溶剤](#) <1 B> 【1000~1500倍 発生初期/5回】
 - ・ [バシレックス水和剤](#) <1 1 A> 【1000倍 発生初期/ー】

マイマイガ

留意事項

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 1 極めて雑食性である。
- 2 若齢幼虫期に防除を行う。
- 3 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。

防除方法

- 1 木の幹についた卵を冬期に取り除く。
- 2 発生初期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) < 4 A >
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期/5回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) < 2 2 B > 【ケムシ類 1000~4000倍 発生初期/6回】
 - ・ [フェニックスフロアブル](#) < 2 8 > 【ケムシ類 4000倍 発生初期/2回】
 - ・ [スピノエース顆粒水和剤](#) < 5 > 【樹木類 ケムシ類 5000倍 発生初期/2回】
 - ・ [ゼンターリ顆粒水和剤](#) < 1 1 A > 【樹木類 ケムシ類 1000倍 発生初期/—】

アメリカシロヒトリ

留意事項

- 1 極めて雑食性である。
- 2 若齢幼虫期は、幼虫が集団化しており防除効果が高い。
- 3 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。

防除方法

- 1 幼虫が集団でいる巣を早めに枝葉ごと切り取って処分する。
- 2 発生直前に、下記の薬剤を樹幹に打ち込む。
 - ・ [オルトランカプセル](#) < 1 B >
【樹木類(除プラタナス、くろまつ、あかまつ、アカギ) ケムシ類
幹周囲10cm毎に1個 発生期直前/2回】
- 3 発生を認めたら、下記の薬剤を散布する。
 - ・ [スタークル顆粒水溶剤](#)、[アルバリン顆粒水溶剤](#) < 4 A >
【樹木類(除つつじ類、つばき類) ケムシ類 2000倍 発生初期/5回】
 - ・ [マツグリーン液剤](#) 劇 < 4 A > 【2500倍 発生初期/5回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) < 2 2 B > 【ケムシ類 1000~4000倍 発生初期/6回】
 - ・ [ノーモルト乳剤](#) < 1 5 > 【20000~30000倍 —/2回】
 - ・ [バシレックス水和剤](#) < 1 1 A > 【1000~2000倍 発生初期/—】

クビアカツヤカミキリ

留意事項

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

- 1 幼虫は樹木内部を食い荒らし、枯死させる。食害は5～6月に最も盛んになる。
- 2 成虫は6～8月頃に出現し、幹や樹皮の割れ目に産卵し、10日前後で卵が孵化する。
- 3 幼虫の食入した穴から出るフラス(かみ砕いた木くず・糞・樹脂の混合物)は、うどん状でこのフラスがある穴には幼虫がいる可能性が高い。フラスは4月～10月頃発見できる。フラス排出部位は、地表に現れた太い根から大人の身長までが多いが、3m以上の高い場所の場合もある。
- 4 住宅地に近い場所等で農薬を使用する場合は、周辺への飛散等による被害を及ぼすことのないよう、周知や使用方法について十分に配慮する。

防除方法

- 1 成虫は見つけ次第、捕殺する(5月中旬～8月)。
- 2 株元から高さ約2mまで4mm目ネットを樹にゆったりと二重に巻き付け、羽化した成虫を閉じ込める。ネットをかみ切ったり隙間から脱出する場合もあるので、ネット設置後も見回り捕殺する。
- 3 うどん状フラスを見つけたら、フラスが出ている穴に千枚通しや針金等を入れ、フラスをかき出してから下記の薬剤を注入する。
 - ・ [ロビンフード](#)、[ベニカカミキリムシエアゾール](#) <3 A>
【樹木類 カミキリムシ類 樹幹・樹枝の食入孔にノズルを差し込み噴射 ー/6回】
 - ・ [園芸用キンチョールE](#) <3 A>
【食入部にノズルを差し込み、薬剤が食入部から流出するまで噴射 発生初期/6回】
 - ・ [アクセルフロアブル](#) <2 2 B>
【100倍 木屑排出孔を中心に薬液が滴るまで樹幹注入 ー/6回】
 - ・ [マツグリーン液剤2](#) <4 A> 【50倍 食入孔に注入 発生初期/5回】
- 4 下記の薬剤を樹幹注入する。いずれも処理液量はラベルの記載どおりに行うこと。
 - ・ [ウッドスター](#) <4 A> 【新葉展開後～落葉前まで/3回】
 - ・ [アトラック液剤](#) <4 A> 【幼虫発生前～幼虫発生期/3回】
- 5 成虫発生期に下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アクセルフロアブル](#) <2 2 B>
【200倍 主幹から株元に散布 成虫発生直前～成虫発生期/6回】
【1000倍 成虫発生直前～成虫発生期/6回】
 - ・ [マツグリーン液剤2](#) <4 A>
【20倍 樹幹散布 成虫発生初期/5回】
【200倍 成虫発生初期/5回】
 - ・ [モスピラン顆粒水溶剤 劇](#) <4 A> 【2000倍 発生初期/5回】
- 6 被害の大きい樹や枝は、9月～翌年3月の間に破碎や焼却等、適切に処分する。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。